

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標（重点は○数字）・具体策				
I 特色ある学校づくりのための学校運営		○小中高校一貫教育研究協議会での授業参観、クリーン作戦、研修会等で中学校区の連携事業が充実していた。 ○学年ブロック体制や教育相談体制が充実していた。	・校務分掌ごとに今年度の活動が来年度に生かせるよう整理しておくとい。	・今年度の取り組みで効果が表れているものは継続するとよい。 ・導入した情報機器を有効活用してほしい。
1 幼保小中連携教育の推進	A			
2 組織を生かした協力体制づくり	A			
3 学びを支える環境の整備	A			
II 確かな学力の向上を図る学習指導		○板書内容とノート指導の充実が図られた。 ○MIM やコミュニケーションタイムの実施により、読むことや表現することへの意識化が図れた。 ○週末課題で学習内容の理解が進んだ。	・算数などでは、少人数学習やコース別学習がより充実するとよい。 ・MIM の検証を行い、その子の躰きに応じた支援ができるとよい。 ・家庭学習の取り組みにより学力差が出るので、課題の提示について工夫したい。	・学力向上に引き続き力を入れてほしい。 ・ほめて伸ばすことで子どもたちに自信をつけてあげてほしい。
1 分かる・できる・楽しい授業づくり	A			
2 言語活用能力の育成	B			
3 主体的な学びの推進	A			
III 自己指導能力を高める児童・生徒指導		○上級生が下級生の面倒をみるという様子が多くみられるようになった。 ○Q - U が計画的に実施され、結果が学級経営に生かされている。 ○教育相談が充実している。	・自尊感情の育成のために「わかる」「できる」達成感をもたせたい。 ・場に応じた言動ができるようにする。 ・豊かな心の育成のための読書の推進を図る。	・学校以外の場でも小川小の児童は、年下の子の面倒をよくみている。 ・町の図書館との連携をさらに図るとよい。
1 自尊感情の育成	A			
2 居がいのある学級（学校）づくり	A			
3 温かな人間関係づくり	A			
IV 健康・安全、体力の向上		○避難訓練、引き渡し訓練等を毎年実施することで児童や保護者の意識が高まってきた。 ○気になる児童への対応が組織的になされている。 ○感染症予防対策がしっかり行われた。	・児童の判断力や危機回避能力を高めていく必要がある。 ・保健の指導の充実を図り、子どもたちの防衛体力を向上させたい。	・生活習慣については、カードに記録することで意識化を図ってはどうか。 ・ゲーム・スマホについては、町全体でルールを決めてはどうか。
1 命を大切にすることの育成	B			
2 健康・保健教育の充実	A			
3 めあてをもった体力づくりの充実	A			
V 家庭・地域との連携		○ホームページや各種便りにより学校の様子がよく伝わっている。 ○ボランティアや町・県の施設など、地域の人材や施設・自然を有効に活用することができた。	・基本的生活習慣、家庭学習については、時刻等を記録する啓発カードを期間を決めて実施する。 ・社会教育の視点からの地域人材の活用をさらに図ってきたい。	・ケーブルテレビ等で学校の様子や活躍が見られる。 ・ゲームの時間を読書等に置き換える工夫もあるとよい。 ・地域人材として町役場の職員などを活用してはどうか。
1 開かれた学校づくり	A			
2 保護者との連携	A			
3 地域との絆と教育活動の活性化	A			

- ・評価項目の評価欄は、各学校で設定した目標等の評価を総合的に評価して記入してください。
- ・各学校の目標については、できるだけ分かりやすく記述してください。